

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-238802

(P2001-238802A)

(43) 公開日 平成13年9月4日(2001.9.4)

(51) Int.Cl.⁷

A 4 7 J 37/04

識別記号

1 0 3

F I

A 4 7 J 37/04

テーマコード(参考)

1 0 3 A 4 B 0 4 0

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-55170(P2000-55170)

(22) 出願日 平成12年3月1日(2000.3.1)

(71) 出願人 000213231

株式会社中部コーポレーション

三重県桑名市大字森忠463番地

(71) 出願人 591059397

土岐産業株式会社

岐阜県土岐市下石町字西山304番地の707

(72) 発明者 松尻 博行

桑名市大字森忠463番地 株式会社中部コ

ーポレーション内

(74) 代理人 100090239

弁理士 三宅 始

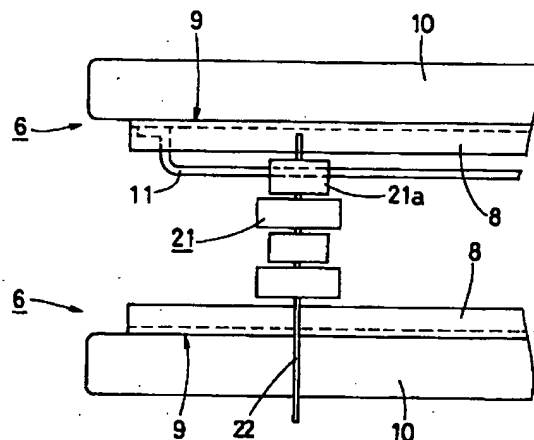
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 焼物器

(57) 【要約】

【課題】 串受台に串の両端部を載置して手を放しても、串刺し食材が回転しないようにした焼物器を提供する。

【解決手段】 串刺し食材 21 の下面を受け止めて回転を阻止する回り止め部材 11 を、串受台 6 の一方に設けたから、串受面 8 に串 22 の両端部を載置して手を放しても串刺し食材 21 が回転することがなく、焙焼中に他の作業ができ省力化を図ることができる。ステンレス鋼線を折曲した回り止め部材を形成して、串受台 6 に取り付けられることもできる。また、串受台 6 に回り止め部材を一体成形することもできる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 焼物器本体の上面に形成した熱口の両側に、串刺し食材の串の両端部を差し渡して載置する一対の串受台を対向させた焼物器において、前記串受台の少なくとも何れか一方に、前記串刺し食材の下面に突出して該串刺し食材の回動を阻止する回り止め部材を設けたことを特徴とする焼物器。

【請求項2】 前記回り止め部材を着脱可能若しくは突出度を調整可能に設けたことを特徴とする請求項1に記載の焼物器。

【請求項3】 前記回り止め部材を前記串受台に一体成形したことを特徴とする請求項1に記載の焼物器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は焼物器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】串刺し食材は、軸となる串の左右の重量バランスが取れていない場合が多い。この場合、串受台間に串の両端部を載置して手を放すと、串刺し食材が回動して重たい側が下方に向いてしまう。このため、食材を満遍なく焙焼するためには串が回動しないように手で支える必要があり面倒であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記問題点を鑑みてなされたもので、串受台に串の両端部を載置して手を放しても、串刺し食材が回動しないようにした焼物器を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するための請求項1に記載された焼物器は、焼物器本体の上面に形成した熱口の両側に、串刺し食材の串の両端部を差し渡して載置する一対の串受台を対向させた焼物器において、前記串受台の少なくとも何れか一方に、前記串刺し食材の下面に突出して該串刺し食材の回動を阻止する回り止め部材を設けたことを特徴とする。

【0005】また、請求項2に記載された焼物器は、請求項1に記載の構成において、前記回り止め部材を着脱可能若しくは突出度を調整可能に設けたことを特徴とする。

【0006】請求項3に記載された焼物器は、請求項1に記載の構成において、前記回り止め部材を前記串受台に一体成形したことを特徴とする。

【0007】

【発明の作用及び効果】請求項1に記載された焼物器は、串刺し食材の下面に突出して該串刺し食材の回動を阻止する回り止め部材を、串受台の少なくとも何れか一方に設けたから、串受台に串の両端部を載置して手を放しても串刺し食材が回動しない。従って、串刺し食材の焙焼中に他の作業ができ、省力化を図ることができる。

【0008】請求項2に記載された焼物器は、回り止め部材を着脱可能若しくは突出度の調整可能に設けたから、食材の大きさや種類に応じて取り外したり突出度を調整したりでき、使い勝手が向上する。

【0009】請求項3に記載された焼物器は、回り止め部材を串受台に一体成形したから、部品点数を低減できコストダウンに寄与できる。

【0010】

【発明の実施の形態】本発明の1実施形態を添付図面を参照して説明する。図1は焼物器1の斜視図、図2は串受台6の一部の斜視図、図3は焙焼時を示した要部の平面図である。焼物器1は、焼物器本体をなす筐体2の内部に熱源となるガスバーナ3を設置するとともに、該筐体2の上面に開口4を形成して熱口5となし、さらに該熱口5の長手方向の両側に一対の串受台6を対向させたものである。そして、串受台6は熱口5の左右両側に設けたガイド7によりスライドして、互いの対向間隔を調整できるようになっている。

【0011】上記串受台6は、ステンレス鋼板の両端部を互いに逆方向へ略直角に折曲して、串受面8と熱遮蔽面9及び立設脚10を形成したものである。そして、一方の串受台6の熱遮蔽面9には、串受面8の下側から該串受面8の先端よりも対向内面側へ突出させた回り止め部材11が溶接により取り付けられている。該回り止め部材11は、帯状のステンレス鋼板を折曲したものであり、図3に示すように串刺し食材21の串22の両端部を対向させた串受台6の串受面8に差し渡して載置したとき、一番外側（若しくは一番手前側）の食材21aの下面を受け止めて、該串刺し食材21が回動するのを阻止するものである。

【0012】上記説明で明らかなように、本実施形態の焼物器1は、串刺し食材21の下面を受け止めて回動を阻止する回り止め部材11を、串受台6の一方に設けたから、串受面8に串22の両端部を載置して手を放しても串刺し食材21が回動することがなく、焙焼中に他の作業ができ省力化を図ることができる。

【0013】また、上記回り止め部材11に代えて図4に示すように、ステンレス鋼線を折曲した回り止め部材31を形成して、串受台6に取り付けることもできる。この場合、図5(a)に示すように両端部を折曲して形成した掛止部32を、熱遮蔽面9に穿設した掛止孔9aに着脱可能に掛け止めたり、図5(b)に示すように両端部に形成したねじ部33にナット34により取り付けたりして、回り止め部材31の突出度を調整することもできる。これにより、食材の種類に応じて取り外したり、突出度を調整したりすることができ使い勝手が向上する。

【0014】その他、図6(a)に示すようにステンレス鋼線を折曲した回り止め部材31を、串受台6の立設脚10に取り付けて串受面8の下面前方に突出させた

り、両端部を串受面8の下面に取り付けて、該串受面8の下面前方に突出させたりすることもできる。さらに、図7に示すようにステンレス鋼板から串受台6を折曲する際、串受面8となる先端折曲部の面積を大きくし、ブランク40を打ち抜いて先端部を斜め下方に折曲することにより、串受台6に回り止め部材41を一体成形することもできる。図6の場合の回り止め部材31は、ステンレス鋼線を折曲するという簡易な構成であるため安価に製作できる。また、図7の場合の回り止め部材41は、串受台6に一体成形したものであり、部品点数を低減できコストダウンに寄与できる。

【0015】尚、回り止め部材11、31、41は、一番外側の串刺し食材21の一部に接触して受け止めるだけであるから、串し食材21の焙焼に殆ど影響することはない。また、串受台6及び回り止め部材11、31、41の材質は、ステンレス鋼に限定されるものではない。そして、必ずしも串受台6に串受面8を折曲形成する必要はなく、熱遮蔽面9の上端面を串受面として串刺し食材21の串22を載置することもできる。熱源としては、ガスバーナの他に木炭等を用いることもできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】焼物器の斜視図である。

【図2】回り止め部材を取り付けた串受台の斜視図である。

【図3】焙焼時を示した要部の平面図である。

【図4】他の回り止め部材を取り付けた串受台の斜視図である。

【図5】回り止め部材の変形例を示した串受台の側面図である。

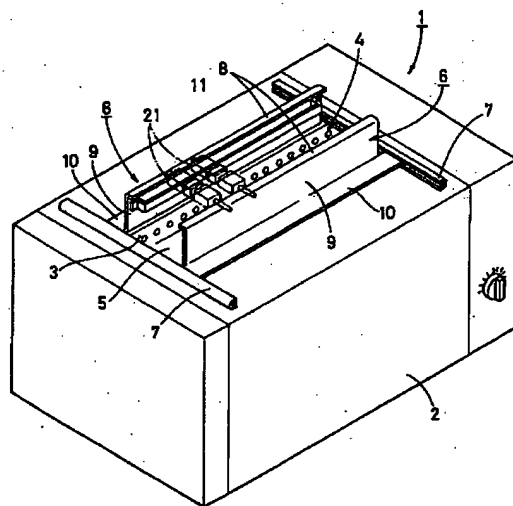
【図6】回り止め部材の他の変形例を示した斜視図である。

【図7】回り止め部材を一体成形した串受台の断面図である。

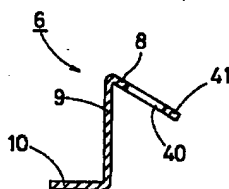
【符号の説明】

- 1...焼物器
- 2...筐体
- 3...バーナ
- 5...熱口
- 6...串受台
- 11、31、41...回り止め部材
- 21...串刺し食材
- 22...軸

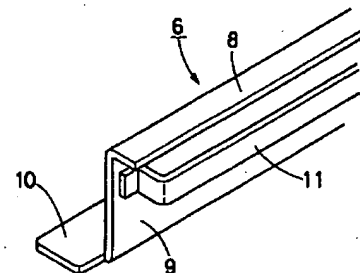
【図1】



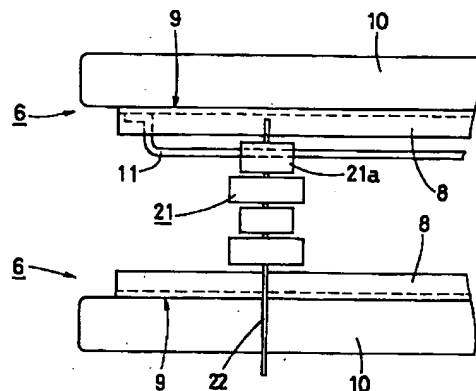
【図7】



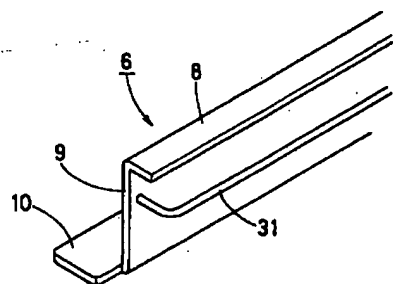
【図2】



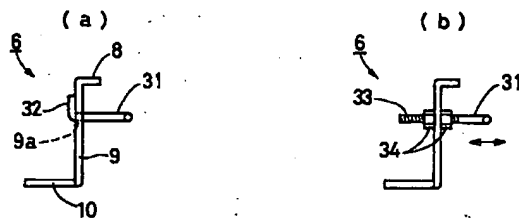
【図3】



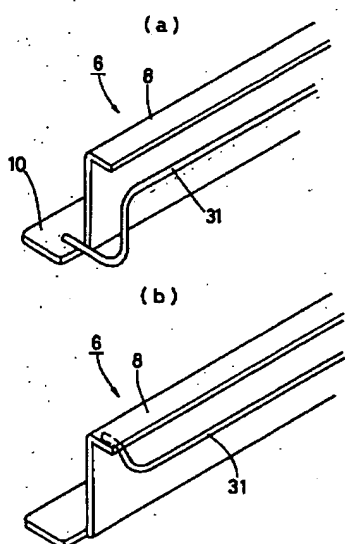
【図4】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(72)発明者 六鹿 励起
岐阜県土岐市下石町字西山304番地の707
土岐津産業株式会社内

Fターム(参考) 4B040 AA01 AB04 AC05 AD04 AE14
CA02 CA03 CA16 EC02 JA02
JA12